

経営比較分析表（令和5年度決算）

和歌山県橋本市 橋本市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	26	対象	ド訓ガ	救臨がへ災輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
59,475	23,410	－	第2種該当	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
300	－	－
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
－	－	300
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
285	－	285

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
[] 令和5年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （連携の促進・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
－ 年度	－ 年度	－ 年度

I 地域において担っている役割

当院が属している橋本医療圏は1市3町で構成されており、圏域の基幹病院として圏域の北東に位置している。二次救急病院として地域の救急医療を担い、災害拠点病院やがん診療連携拠点病院、へき地医療拠点病院としての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度は、前年度と比べ、病床利用率の低下や入院・外来単価の減少により医療収益が減少するとともに、新型コロナウイルス感染症対策補助金減により医療外収益も減収したことから、収益全体で減収となった。

一方費用については、給与費や減価償却費等の増加により医療費用が増加したことから、費用全体も増加した。これらのことにより、経常収支比率、医療収支比率、給与費対医療収益比率、材料費対医療収益比率ともに悪化している。また、累積欠損金比率についても経常収支比率が100%を下回ったことにより悪化している。

2. 老朽化の状況について

【有形固定資産減価償却率】

令和5年度は、前年度と比べ、設備や器械備品の更新が少なかったことから有形固定資産減価償却率は少し増加している。類似病院と比較して高い水準にあり、老朽化が進んでいる。病院施設や設備の更新を計画的に行う必要がある。

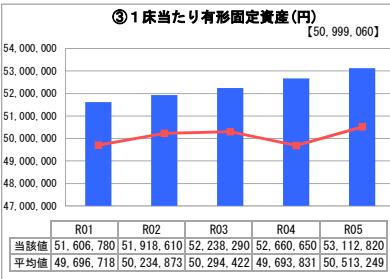
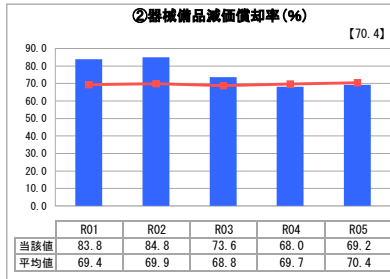
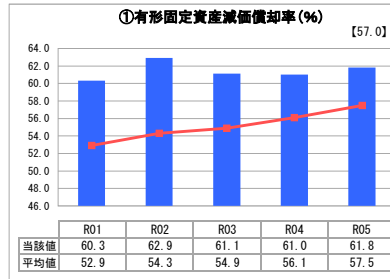
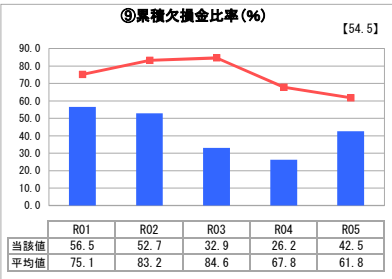
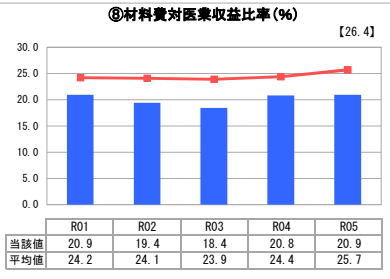
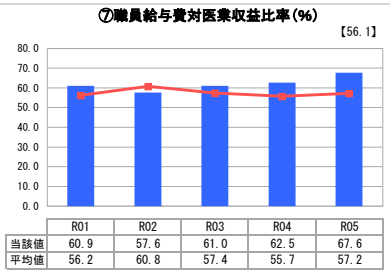
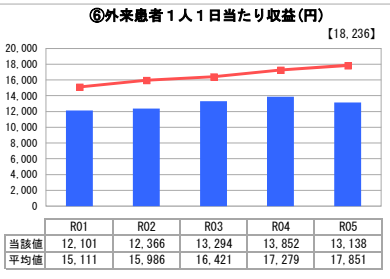
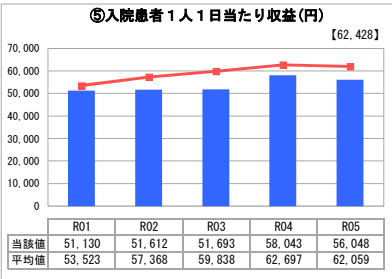
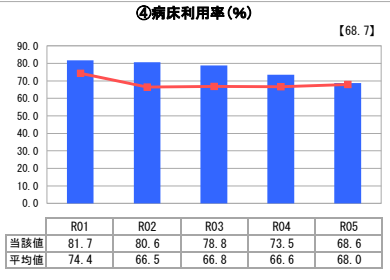
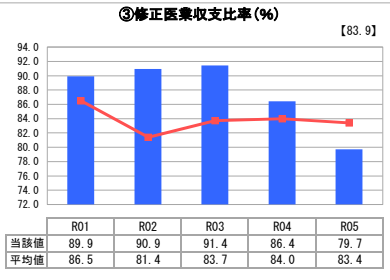
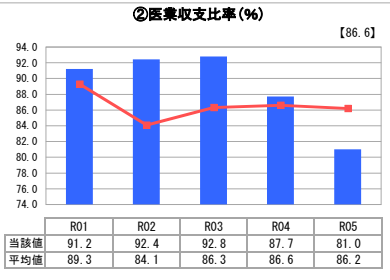
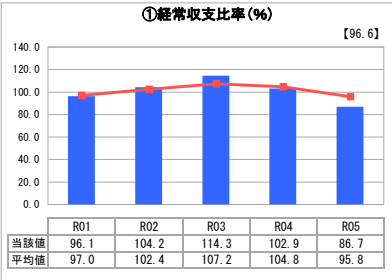
【器械備品減価償却率】

令和5年度は、前年度と比べ、器械備品の更新が少なかったことから器械備品減価償却率が増加しているが、類似病院と比較して低い水準となっている。

全体総括

経営の健全性・効率性においては、昨年度と比較すると、悪化している。病床利用率は類似病院平均値を上回っているが、経常収支比率、医療収支比率、入院患者・外来患者1人1日当たり収益は類似病院平均値を下回っている。老朽化の状況においては、器械備品は毎年更新しているため、類似病院と比較して、老朽化は進んでいない。一方、有形固定資産全体では、建物付属設備の更新が先延ばしになっており、老朽化が進んでいる。計画的に更新を進めていくために、入院患者数を確保し、安定した病院経営に努める必要がある。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。